

学校教育目標・学校経営方針

◎ 学校教育目標 生き生きどいっ子

児童が自ら課題を解決したり、他者と協働しながら思いや考えを意欲的に表現したりする活動を通して、自らたくましく未来を切り開いていくことができる「生き生きどいっ子」の育成を目指す。

◎ 学校経営理念 (めざす学校の姿)

子どもたちが「明日も行きたい」と思う学校、また、保護者や地域の方が「子どもを行かせたい」と思える学校、さらに教職員が「勤めたい」と思える学校を目指す。

◎ 学校経営方針

- ・全ての価値判断は「子どものために」
- ・教職員が「チーム土居小」を実感できる組織づくり
- ・地域・家庭・関係機関との連携・協働した学校づくり

めざす子ども像

- ・学んだことを生かして自ら考え行動する子
- ・相手が納得するように 自分の考えを伝える子
- ・仲間とともに粘り強く挑戦する子

◎ 令和6年度重点事項

- ・自分から考え、生き生きと表現する児童の育成 ～対話によって学びを深める授業の工夫～
- ・児童の自主的・実践的な活動となる特別活動の推進
- ・個に応じた指導・支援力の向上を目指した発達支持的生徒指導（特別支援教育）の充実

◎ 具体的な取組

1. 「確かな学力」の育成

児童が基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力を身に付けることができるよう努めます。そのために、児童が見通しをもち、課題を解決しようとしたり、新たな考えや、自他のよさに気付いたり、学習の振り返りをしたりすることができる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。また、児童の発達段階を考慮した、言語活動を通してコミュニケーション力の育成に努めるとともに、家庭との連携を図りながら、学習習慣が確立するように配慮します。さらに、**保・小・中**との連携を深め、児童の円滑かつ効果的な接続を目指します。

2. 心の教育（道徳教育、人権教育）・特別支援教育の推進

児童にとって学校が、安心・安全な居場所となるよう努めます。特に「あいさつをする」「整頓をする」「きまりを守る」取組を推進します。また、児童に応じた教育の充実を図るとともに、考え議論する道徳教育や人権教育の推進、多様な体験活動や表現活動等を通して豊かな心や創造性を育成します。さらに、一人一人の様子をきめ細かく見取り、寄り添うことや、各種アンケートの結果分析を活用して、誰もが安心感や認められ感をもつことができる学級・学校づくりを行います。

3. 健康教育・生活指導の充実

生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うとともに、基本的生活習慣の定着を促進します。そのために、副読本を活用した体育科授業の充実、改善に努めたり、体育的行事を計画的に行ったりすることにより、体力の向上と運動好きな児童を育成します。

また、年間3回の「どいっ子のくらし」や保健委員会の活動等を通して、保護者と連携しながら望ましい生活習慣が身に付くよう取り組みます。

4. 安全教育・危機管理の徹底

様々な自然災害や事件・事故等の危険から命を守り抜こうとする意識をもたせるとともに、危険の要因や状況を判断し、進んで安全な行動がとれるよう、生涯を通じて安全な生活を送るための基礎を養います。そのために、保護者や地域の方々との連携を密にしながら、子どもの発達段階に応じた安全教育を推進したり、防犯教室、交通安全教室等を行ったりして、必要な事項を実践的に理解させます。さらに、危機管理意識を高くもち、児童の安心・安全を確保します。

5. 保護者・地域・関係機関との連携

児童がふるさと土居を愛し、夢・志をもち、他者と協働しながらたくましく未来を切り開いていく「生きる力」を育むことができる「地域学習」に取り組みます。また、地域学校協働本部を設置して様々な教育活動への幅広い地域の方々の参画を得、土居小の児童を健やかに育むことを目指します。そのために、学校・家庭・地域の連携・協働によるチーム学校としての教育活動を充実させます。また、学校の教育方針や取組、学校評価などの情報を保護者・地域の方々に積極的に公開します。